

テロ防止へ

～官民一体の取り組み～

三重県では、今年5月に主要国首脳会議(伊勢志摩サミット)、平成33年には国体の開催が予定されています。国内外から多数の人が来訪することになり、臨海部にコンビナートを有する本市は、テロなどに対する警戒が必要となってきます。

そこで、本市においても、官民一体となってテロ防止に取り組むため、「テロ対策四日市南・北・西地区パートナーシップ」が1月に発足しました。このパートナーシップは、自治会・団体、電気やガスなどのライフラインや運輸会社・集客施設・コンビナート企業などの民間事業者、警察・本市などで構成され、官民一体のテロ対策に向けて動き出しました。

発足式に先駆けて、市では、危険物や高圧ガスを大量に貯蔵・取り扱いをするコンビナートにおいて、同時多発テロを想定した消防訓練を実施しました。今後も、合同訓練を実施するなど、さらに連携の強化に努めていきます。



テロ対策四日市南・北・西地区パートナーシップの発足式



コンビナートでの訓練

「いつもと違う!」 その感覚が大切です

テロリストは、ある日突然襲撃してくるとは限りません。観光客などを装って、あなたのまちに溶け込んでいるかもしれません。

また、事前に、写真やビデオを撮ったり、同じ場所を何度も行ったり来たりと、下見をしているかもしれません。駅や公園などに荷物を置き去ろうとしている人を見かけたり、見慣れない物が置いてあったりということがあれば警察へ、また、臨海部で不審船・不審物を見掛けたら海上保安部へ連絡してください。

見慣れない物を発見しても、決して触ったり、開けたりしないでください。

テロへの強い危機意識を持ち、
不審者や不審物を発見したら

☎110 警察

☎118 海上保安部



防災
ワンポイント
情報

地震が起きたときの心得

地震が起きると、上から瓦や窓ガラス、看板などが落ちてくる可能性があります。また、補強されていないブロック塀や石碑などは、崩れたり倒れたりする可能性があります。外を歩くときは注意するとともに、その管理者は、補強するなど適切な管理をお願いします。

地震が発生した時に屋外にいる場合は、落下物の心配のない公園などに避難するとともに、塀や看板、石碑などの近くから離れましょう。

